

成果の説明書

(氏名)内山 知一	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>本年度は、まず、教職関連で、教育実習の事前・事後指導、実習に向けた各学生へのフォロー、免許取得希望者へのガイダンス等、教育実習・教員免許取得に関わる業務を担い、その他、さまざまな機会に教職課程の実施を補助した。本学では、担当する授業を履修している学生に限らず、教職を目指す学生の多くが、教育分野を中心に学んでいないため、教育についての理論的・実践的な知識・経験が必ずしも十分でないという現実がある。他方、教育実習では、そうした状況に関わりなく、生徒の前で実習生として責任を持って授業・業務を担わなければならない。こうした差を埋めるために、授業等では、応用的な内容を意識しつつも、重要かつ初歩的な事項をおろそかにせず、分かりやすく説明するよう留意した。さらに、教育実習に向けた授業準備を有効に進めるために、必要に応じて、学習指導案やその構想を、複数回、確認する等、より完成度の高いものとなるよう支援した。特に、カリキュラム上、最終的なまとめの時間となる教職実践演習や教育実習の授業では、教師の業務内容・教育内容が時代とともに変わりつつある状況に鑑み、不断に中身を見直し、更新していくことが求められる。そうしたことにも対応して、上記授業では、その内容を精選し、受講生が、教師を目指すにあたって、最低限、知っておかなければならないことや乗り越えなければならない壁等をまずは自覚させることを目指した。</p> <p>また、本年度は、新しい研究テーマの下で、準備段階として必要な資料を集め、関連の理論・実践等の検討を行った。具体的には、授業における発問の方略に着目し、その意図や授業の構造も踏まえて、効果・問題等について考察した。本領域は、これまで多くの知見が積み重ねられており、研究がなされてきた分野である。そうした成果を踏まえながら、多視点から分析を進め、有用な方略等の検討を行った。さらに、二次的なものではあるが、上記のテーマを扱う中で、担当科目に関わる基本的な事項や教えていくべき重要な要素等を振り返る機会に恵まれ、関連知識を得ることができた。こうした内容については、今後の本学での授業にも還元し、学生が、学びをいっそう深められるよう留意したい。そして、全体としては、来年度以降も、本テーマでの考察をより重ね、研究を深めていくようにする。</p>	
<p>2 その他の事項</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>本年度は、教育実習や授業、免許取得希望者へのガイダンス、それらに付随する業務等を中心に、本学の教職課程に携わり、カリキュラムの全体像や教職を目指す学生の実態等について、おおよその現状を理解することができた。また、研究面では、新しいテーマの下、文献等を入手して課題を見出し、必要な考察を行うことができた。次年度は、こうした土台に基づいて、継続して、教職課程の円滑な実施に貢献していくとともに、本年度に得た問題意識の下、追加の文献等も取得・検討し、研究テーマを発展させられるよう努めていきたい。</p>	